

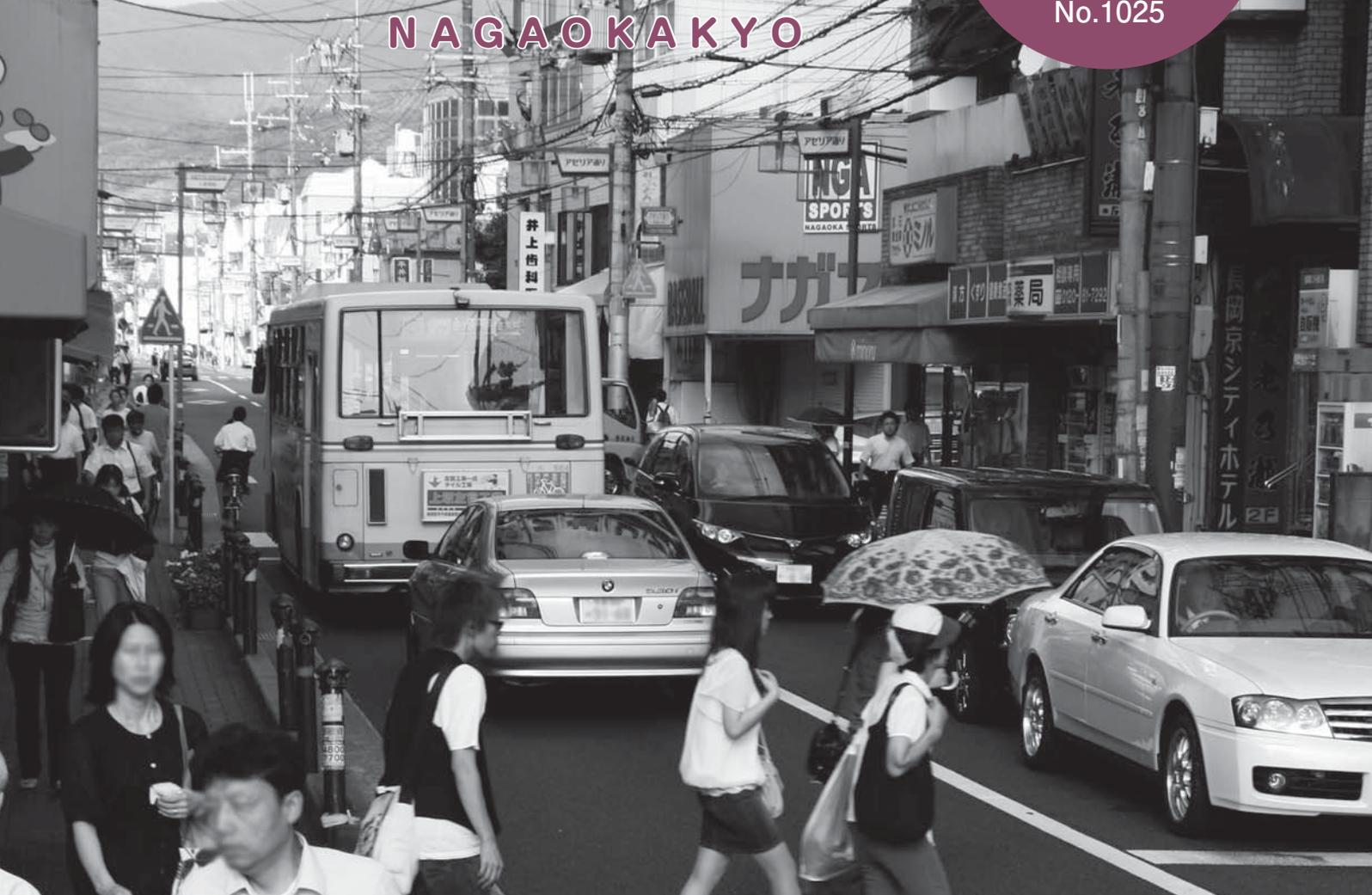
MITSUBISHI
三菱テレビ・ビデオ

アゼリア

広報 長岡京

NAGAOKAKYO

臨時増刊号
交通社会実験
2010.9.23
No.1025



だれもが安心して歩けるまちに 長岡天神駅周辺の交通社会実験

だれもが安心して歩けるバリアフリー化されたまちにするために、阪急長岡天神駅周辺の交通社会実験を行います。期間は10月23日(土)から26日(火)までの4日間。実験では、アゼリア通りと天神通りの東西約800メートルを対象に、車道の一車線規制により、歩道や自転車を通る路肩を広げます。実験から、安全で、にぎわいと魅力あふれるまちを実現できるかどうか、その効果や影響を分析します。歩いて、車で、体験して、長岡京市の道路とまちのことを一緒に考えてください。

◎まちづくり推進室 中心市街地担当 ☎955-9563 FAX951-5410

考えませんか 長天駅周辺のバリアフリー化

交通社会実験の日程や実施方法は裏面をご覧ください。→

道路の現状は？

安心して歩ける道ですか

阪急長岡天神駅周辺のアゼリア通りと天神通りは、道幅が狭く、十分な歩道を確保することができません。狭いところでは、歩行者同士がすれ違えない部分もあり、歩行者と自転車、車が交錯する道路になっています。

歩道にも傾斜や段差があり、車いすやベビーカーなどが通りにくくなっています。雨の日は、駅までの送迎の車が道をふさいでしまい、渋滞する光景をよく目にします。だれもが安心して歩ける道路の整備が求められています。

なぜ一方通行化の実験を？

「安全」と「にぎわい」の両立

交通社会実験では、歩道を広げるための方法として、アゼリア通りと天神通りの一車線規制による一方通行化を選択しました。

車を双方方向通行のまま、歩道を広げるには、道路用地の買収が必要になり、多くの費用と時間がかかります。通りに面した店舗がなくなり、にぎわいが失われるおそれもあります。これらのことを避けつつ、だれもが安心して歩けるまちにする一つの方法として、車道を一車線に減らし、歩道を広げる実験をします。それにより、車や人の流れがどう変わるか、周辺地域の安全が守られるか、にぎわいにどのような影響を与えるかなどを検証します。

実験中の道路イメージ

実験期間中は、アゼリア通りと天神通りに、柵などの工作物を設置します。

- *写真は、一方通行の進行方向を向いています。写真の下には変更する内容を書いています。
- *天神通りのイズミヤから西側は、道幅が狭いため柵などの工作物を設置せずに、一方通行化します。歩道は、広がりません。
- *各通りの出入口付近や踏切周辺では、車線が左右に変わります。
- *通行の際には、道路上に設置する案内看板や交通誘導員の指示に従ってください。



アゼリア通り
* 右側車線を通行

歩道が
広がる部分
2メートル

自転車
が走る
路肩
約1.5メートル

車線（東向き）
3メートル



天神通り（イズミヤより西）
* 左側車線を通行

車線（西向き）
3メートル

自転車
が走る
路肩
1.8メートル



天神通り（イズミヤより東）
* 右側車線を通行

歩道が
広がる部分
1.5メートル

自転車
が走る
路肩
1.8メートル

車線（西向き）
2.8メートル

昨年「長岡天神駅周辺交通社会実験協議会」を設立し、実験に向けて検討してきました。協議会には、地元自治会や商店街、各種団体の代表、学識経験者、交通事業者、警察・道路管理者などが参加しています。協議会では、安全で効果的な実験とするにはどうすればいいか、時期や方法、安全対策などを議論してきました。

実験までの取り組み

関係機関が議論

その後も、平成16・17年度には「長岡京市地区交通計画(素案)」、19・20年度には「長岡天神駅周辺のまちづくり構想」をそれぞれ地元自治会や商店街、学識経験者などで組織する検討委員会でも議論してきました。その中で、交通問題だけにとどまらない、中心市街地の活性化を含めた検討をしてきました。そして、バリアフリー化を実現するための短期的な取り組みとして、交通社会実験を実施します。

これまでの経過

継続的な検討

市では、平成14年に「長岡京市交通バリアフリー基本構想」を策定し、阪急・JR両駅舎の改修や、アゼリア通りの歩道を広げるなどのバリアフリー化を定めました。

効果の検証

アンケートや交通量調査を実施

交通社会実験は一方通行化を前提に行うわけではありません。実験によって見えてくるメリットやデメリットをアンケートや交通量調査を実施して、検証します。検証結果を基に、長岡天神駅周辺のバリアフリー化の方法などを総合的に判断します。この機会に、このまちの将来像と一緒に考えてください。

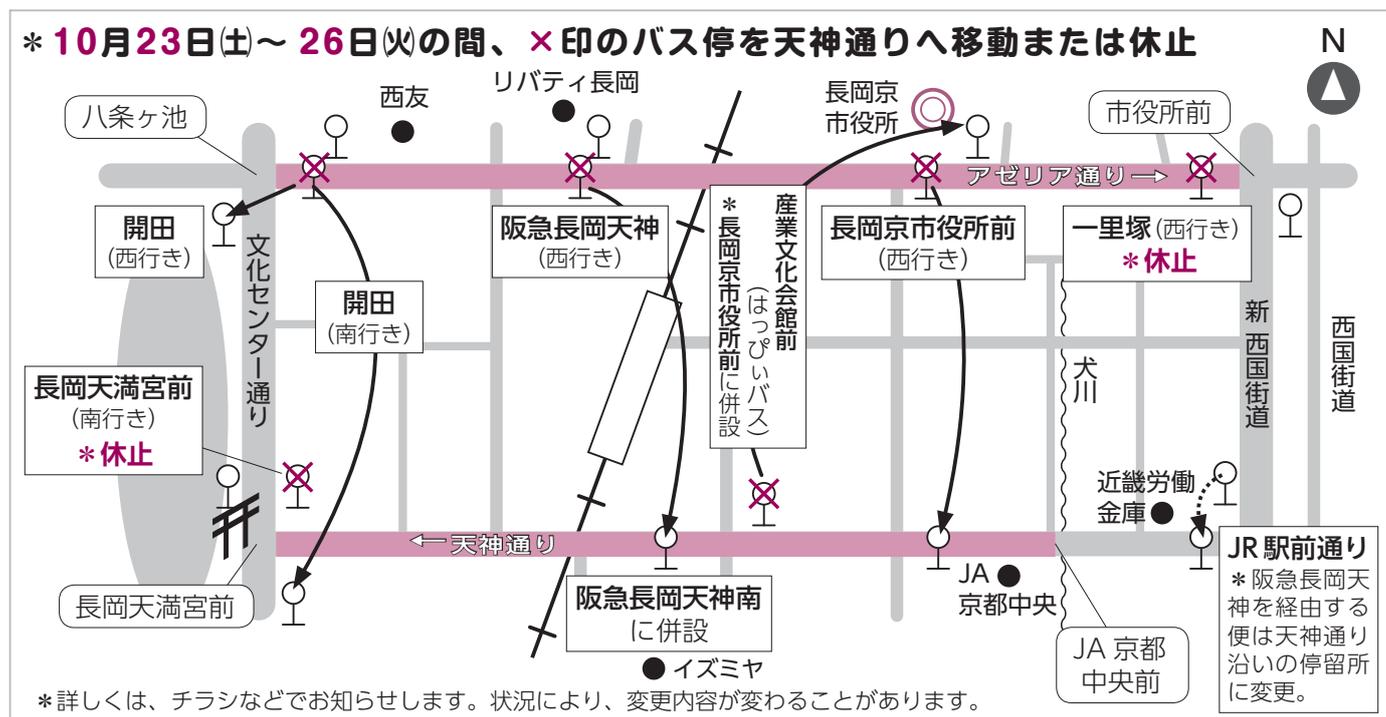
【検証のポイント】

- ▽アゼリア通りと天神通りで、歩行者が安心して歩ける環境となるか
- ▽渋滞の発生や交差点での右左折など、車がスムーズに通行できるか
- ▽アゼリア通りと天神通りの2本の道に挟まれた地域やその周辺地域で、う回する車が増え、安全面など生活環境が悪化しないか
- ▽電車やバスの利便性に影響がないか
- ▽通りに面した店舗の利便性や客足に影響はないか

【アンケート】

実験期間中、対象者ごとのアンケートを実施します。調査票は、手渡しや郵便受けに配布し、郵送で回収します。ご協力をお願いします。

対象 歩行者と自転車利用者、地元住民、バス・電車の利用者、バス・タクシーの乗務員、沿道の店舗の経営者、沿道の事務所の従業員の方など



停留所が変更になる阪急バスの路線一覧

系統番号	経由地・行き先 (一里塚 → 開田の区間を経由する系統)
1・3	友岡・海印寺 経由 金ヶ原・円明寺ヶ丘(循環)
15	友岡 → 円明寺ヶ丘 経由 西法寺 → 小泉橋
5・6・7	光風台住宅前・美竹台住宅前
8・9	済生会病院 経由 奥海印寺(循環)
20・22	舞塚・長法寺・向日が丘養護学校前 経由 光明寺(循環)
71	友岡 → 久貝方面 経由 JR長岡京東口
18	友岡 → 小泉橋 経由 阪急大山崎 → JR山崎
11	舞塚 → あかね 経由 今里 → 一文橋

西行き路線のバス停が一部変更

アゼリア通りが東向き一方通行になるため、阪急バスと長岡京はっぴいバスのアゼリア通り西行き路線(一部、天神通り東向き路線)の停留所が上図のとおり移動します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

◇変更になる路線

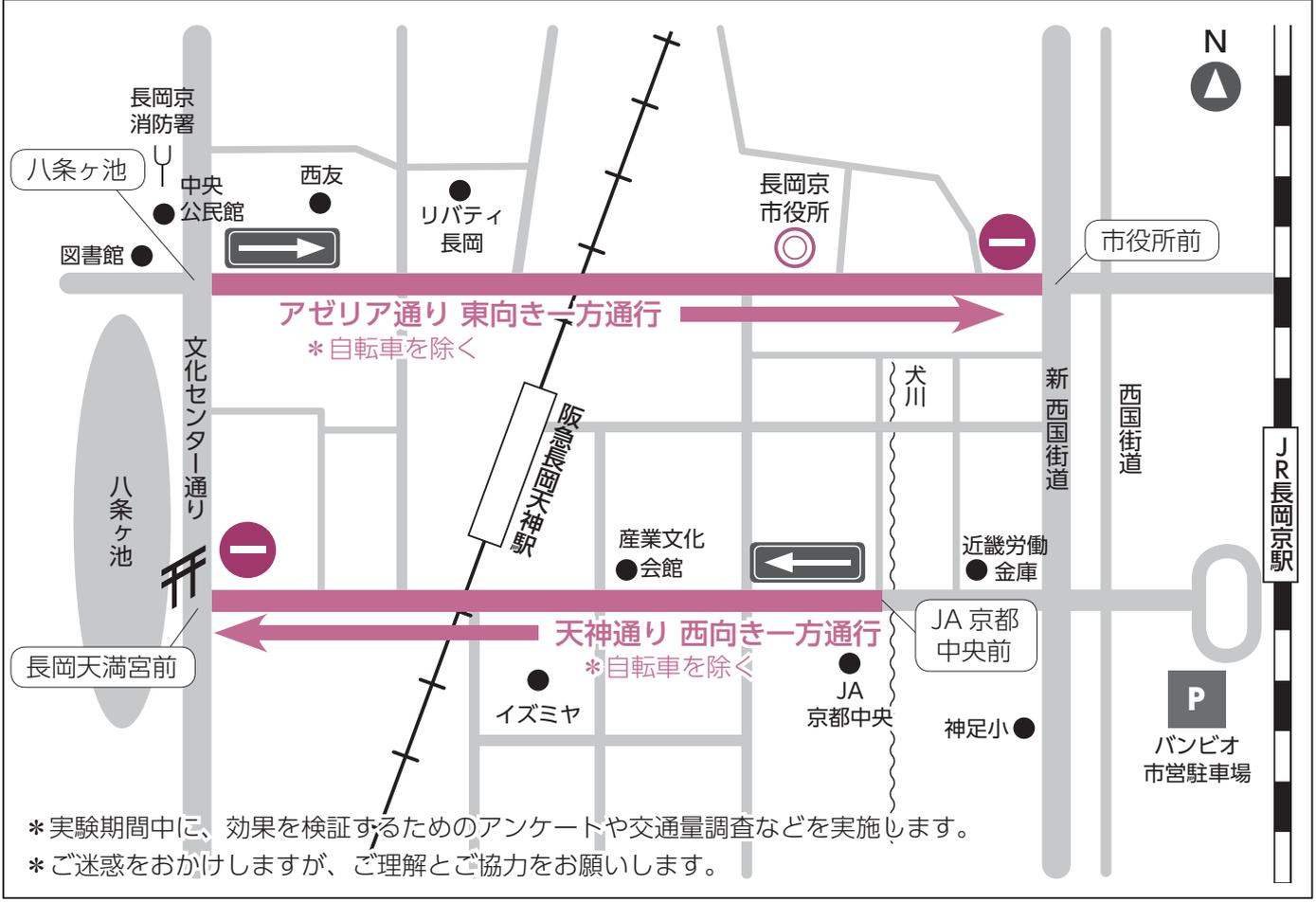
- 阪急バス…左表のとおり
- 長岡京はっぴいバス…各コースの午後の便
 - 北コース…午後1時15分発の便から最終便(時計回り)
 - 西コース…午後1時20分発の便から最終便(反時計回り)

◇移動する停留所…アゼリア通りの各西行き車線

- 開田 → 【西行き】八条ヶ池交差点付近
【南行き】長岡天満宮前交差点の南側付近
- 阪急長岡天神 → 「阪急長岡天神南」停留所に併設
- 長岡京市役所前 → JA 京都中央の西側付近

◇休止する停留所…長岡天満宮前(南行き)、一里塚(西行き)

*一部、発車時刻が変更になる停留所があります。



アゼリア通りと天神通りを一方通行化 10/23(土)～26(火)の4日間

交通社会実験の目的

市では、平成14年に「長岡京市交通バリアフリー基本構想」を策定しました。アゼリア通りは、多くの人が利用する幹線道路として、人や車が通りやすい道に整備することが急がれていました。しかし、道路を広げるには、土地所有者の協力や多くの費用と時間が必要です。そこで、道路を広げずに、歩行者に安全な歩道を確保する方法として、天神通りとともに、車道の一車線規制により、歩道を広げる交通社会実験を実施します。実験を通して、人や車の流れ、地域や商店街への影響など、その効果や課題を検証します。

期間

10月23日(土)～26日(火)の4日間

*開始は23日(土)の午前6時から、終了は27日(水)の午前0時まで。交通規制は、24時間実施します。

区間

アゼリア通り 八条ヶ池交差点～市役所前交差点
天神通り 長岡天満宮前交差点～JA京都中央前

実験の内容

- 車道** 一方通行の交通規制を実施(自転車を除く)。アゼリア通りを東向きに、天神通りの一部区間を西向きに。
- *市役所前交差点からアゼリア通りへと、長岡天満宮前交差点から天神通りへ進入禁止。
- 歩道** 車道上に柵などの工作物を設置し、歩道を広げます。
*天神通りのイズミヤより西側は道幅が狭いため、歩道は広がりにません。
- 自転車** 道路上のラインと柵などの工作物の間を、通行します。(中面の道路イメージをご覧ください)
- バス** アゼリア通りを西向きに走る阪急バスの停留所が、天神通りに移動します。一部、新西国街道と文化センター通りに移動する停留所があります。(中面をご覧ください)
- 安全対策として、交通誘導員を配置したり、案内看板を設置したりします。